# 魚の生食後に出現した間欠的腹痛　 56歳男性　書籍900頁参照

|  |
| --- |
| 現病歴：普段から魚を生食することが多い．来院2日前にカツオ，前日にイワシ，ヒラメを食べた．来院当日16時頃に上腹部痛が出現し，軽快しないために救急外来受診．腹痛は間欠的であり，数分ごとに増悪寛解を繰り返した．腹痛の出現後は排便，排ガスがなく，腹部の膨満感もある．  既往歴：脂質異常症．開腹歴なし．  内服薬：なし．  嗜好歴：飲酒は焼酎2合/日，喫煙は20本/日を36年間．  身体所見：意識は清明．身長179 cm，体重86.3 kg，体温37.1℃，脈拍88 回/分（整），血圧174/94 mmHg，呼吸数16回/分．結膜に貧血黄疸なし．心肺に雑音聴取せず．腹部は膨隆し，上腹部主体に圧痛・反跳痛を認める．筋性防御なく，腸蠕動音は正常．両側肋骨脊柱角（CVA）叩打痛なし． |

## ■診断の進め方

### 特に見逃してはいけない疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

### 頻度の高い疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

## ■この時点で何を考えるか？医療面接と身体診察を総合して考える点 （可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる）

ここに記入

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■必要なスクリーニング検査（診断を絞り込むために必要な検査を挙げる）

ここに記入

## ■検査結果

|  |
| --- |
| 腹部単純X線検査：臥位では腹部正中を主体に小腸ガスと小腸の拡張が認められ，立位ではniveauの形成が認められる（図1）．  血球検査：WBC 14,000/μL，RBC 518万/μL，Hb 15.2 g/dL，Ht 48.3%，Plt 22万/μL．  血液生化学検査：CRP 2.09 mg/dL，γ-GT 117 U/L，P-アミラーゼ 48 U/L． |

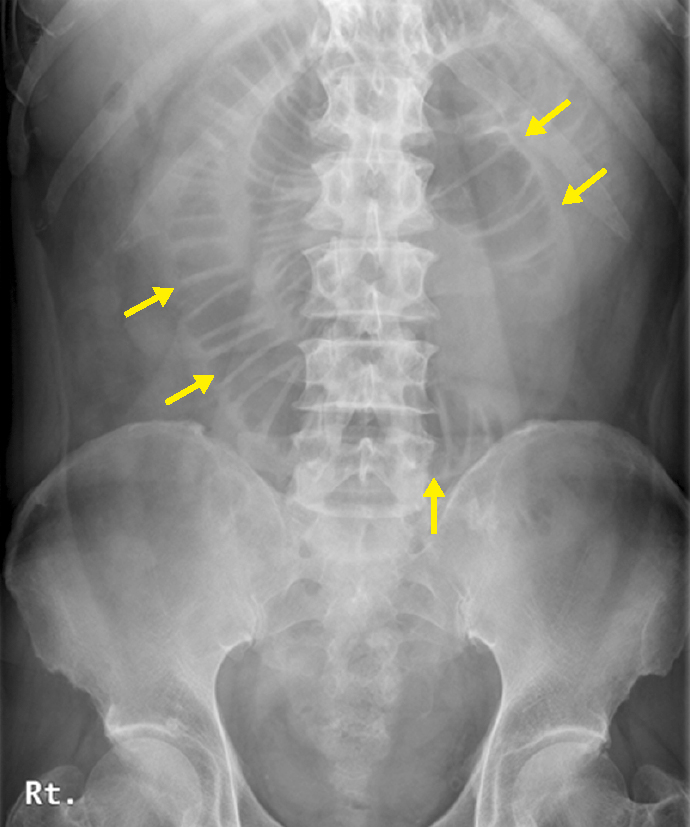
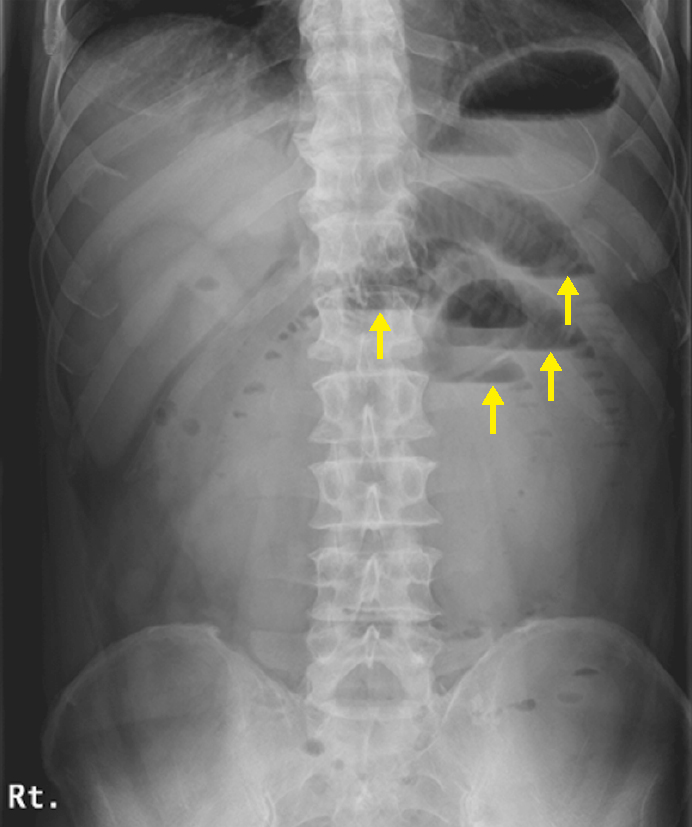
a   b

図1 腹部単純X線写真

a：臥位．腹部正中主体に小腸ガスおよび著明な小腸の拡張が認められる．

b：立位．niveauの形成を認める．

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■診断確定のために（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

### 診断（診断結果を記入）

ここに記入

## ■治療の基本方針（診断を受けて必要な治療を挙げる）

ここに記入